

2050 ゼロカーボンシティ所沢を目指して ～市民が動き始めた～

地球環境に学ぶサークル 中原 幹男

2020年10月、当時の菅首相が2050年までにカーボン・ニュートラルの実現を目指すと宣言し、11月には所沢市藤本市長が「ゼロカーボンシティ所沢」を表明しました。これを受けて、「所沢の明日を考える市民フォーラム」「地球環境に学ぶサークル」「所沢市民ソーラー」の3市民組織は、“所沢市民による、所沢市民のための、所沢市民の「ゼロカーボンシティ」”実現に向けて、昨年12月から、世代を超えたディスカッションを開始しました。



◆ 2021年12月5日(日) 新所沢公民館 「ストップ! 気候危機討論集会」を開催し、世代や立場を超えた42名が、スピーチ&パネルディスカッションを行いました。学生、Z世代、子育て世代、シニア世代、事業者として生活クラブ役員、市議、市長、まちごとエコタウン推進課など、幅広い立場の方々が参加し、それぞれが気候危機と「ゼロカーボン」に対する取り組みの意志を表明し、問題の共有ができ、次回へ続く運動の起点となりました。

・参加した子育て世代上田マリノさんのメッセージ

同世代のみなさんへ「年長者とつながり先人の知恵と現代のアイデアで、この難局を乗り越えよう」

シニア世代のみなさんへ「ぜひ行動する若者をサポートしてほしい」

◆ 2022年4月10日(日) 小手指公民館分館 「ストップ! 気候危機」で所沢の未来をみんなでつくろう市民会議準備会」を開催し、若者世代、市民組織メンバーや、市議、県議、衆議院議員も交え、みな個人として参加した47名が6グループに分かれ、環境問題意識や取組み、今後の課題などをフリーに討議しました。



・子育て世代上田マリノさんが作ってくれた呼びかけ

「所沢の未来を、所沢の環境を、所沢の人が考える日」

春の芽吹きを喜び、夏は蝉の声を追いかけ、秋は木の実あそび。冬の澄み渡った空を5歳の娘と見上げ、この子の未来に思いを馳せる。家族と季節を楽しみ、友人と喜びを共有したい。こういった素朴な願いが徐々に叶えられなくなるのでは…と近頃感じています。

危険な暑さ、集中豪雨、海外の熱波・山火事など、近ごろ何かおかしいなと思うことはありませんか? 「地球環境」というと少し大きな話に聞こえるかもしれませんが、でも、おうちの電気のこと、食べ物のこと、ごみのこと、そういった日々の私たちの暮らしが、足元の行動が、地域の環境につながり、日本の環境、地球の環境につながっています。

【所沢市民ソーラー会報14号から引用】

